

事業概要

1 地域こそだてカレンダー

地域の子育て情報をデータベース化し検索できるよう掲載。

2 つかの子育て応援ルーム

とことこ 情報スペース運営

戸塚区役所内「とことこ」の情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託・実施。

3 対話の場と出番をつくる(カフェの場)

こまちカフェ

気軽に立ち寄りリフレッシュができるカフェ機能と、対話を出番を作り出すコーディネート機能を持つ。

4 多様性事業

でこぼこの会

クアラーズカフェえんがわ

ほっと一息金曜日

当事者性の高いテーマでの学び合いや情報共有、おしゃべりの場を作る。

5 チャレンジ事業

手づくり雑貨マルシェbaco+の運営

作家さんによるハンドメイドの作品の販売。

イベントスペースの貸出

イベントの開催を通して子育て中の親のリフレッシュや外出動機を創出を行う。

6 ウェルカムベビープロジェクト

「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし、子育てを応援できる社会」を目指し、地域と企業から「出来祝い」をお送りしている。

7 戸塚宿のぼの商和会事務局

約80名の会員がいる戸塚の商店会の事務局を務め、子育てに必要なまちのインフラを考え提案している。

8 つながりデザインプロジェクト

「カフェ」という居場所を通して、自分らしい参加と活躍の場を見出すためのチャレンジ事業

9 提言・啓発

カフェ型の居場所づくりの展開、開発したツールを利用した対話の場の開催「対話」の機会を作るファシリテーター養成、その他こまちふらすの活動を伝え「子育てが「まちの力」で豊かな社会」の実現に向けて提言・啓発を行う。

団体概要

団体名	認定特定非営利活動法人こまちふらす
所在地	〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町145-6奈良ビル2階
メールアドレス	staff@comachiplus.org
設立	2012年2月
目的	この法人は、子育てに関わるすべての人に対して、子育てに関する団体及び個人の相互の情報交流を支援し、社会とのつながりを見出し子育てに対する喜びを発見、共有し合える場を地域社会と連携し創出することで、孤立しない子育て環境の形成に寄与することを目的とする。(定款第3条より)
スタッフ/パートナー数	スタッフ 39名 / こまちパートナー 199名 (2021年3月31日時点)
事業内容	(1) 子育て情報の提供 (2) 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり (3) 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業 (4) 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業 (5) 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業 (6) 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業 (7) その他第3条の目的を達するために必要な事業
会員数	正会員: 48名 賛助会員: 6名 (2021年3月31日時点)
役員	【理事長】森祐美子 【理事】河合裕生(office musubime 代表) 【理事】青柳節介(株式会社ぐるんどびー代表取締役) 【理事】古川貴一(日本アイ・ビー・エム株式会社 金融戦略推進 理事) 【理事】柿田明子(3・3産後サポートプロジェクトリーダー、NPO法人孫育て・ニッポン理事長、大切を育むARU・主宰、ここて港北 代表) 【理事】北本若葉(ゆめのバズル株式会社 代表取締役) 【理事】佐藤貴美(特定非営利活動法人こまちふらす 渉外担当) 【理事】山田朋子(特定非営利活動法人こまちふらす 事務局長) 【監事】藤上倫弘(特定非営利活動法人国際総合世界食糧計画WFPF協会)



2020年度 収支報告

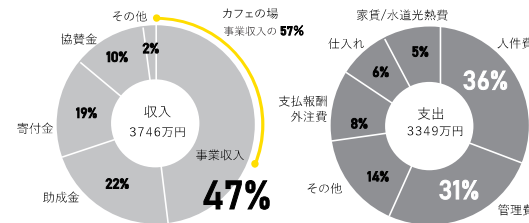
科目	金額(単位:円)	前年比
事業収入	6,913,487 (カフェの場)	↓ 84%
提言・啓発事業	3,514,311	↓ 220%
チャレンジ事業	3,115,417 (カフェの場)	↓ 81%
委託事業(情報)	2,459,500	→ 103%
コーディネート事業	1,526,636	↓ 64%
多様性事業	131,270 (カフェの場)	↓ 68%
事業収入計	17,660,621	→ 95%
助成金	8,096,629	↓ 94%
寄付金	7,034,480	↑ 180%
協賛金	3,865,000	↑ 117%
会費	253,000	↑ 101%
その他	554,880	↑ 113%
収入計	37,464,610	→ 108%
人件費	13,382,927	↑ 103%
家賃/水道光熱費	2,031,671	↓ 83%
仕入れ	2,119,253	↓ 97%
支払報酬/外注費	3,135,457	↓ 233%
その他	5,148,786	↑ 137%
管理費	11,436,232	↓ 107%
支出計	37,254,326	↑ 111%
当期経常増減額	210,284	

① 「こまちカフェ」では、新型コロナの影響により店内飲食を一時中止・人数制限したため大幅減収。しかし、テイクアウトやオンラインショップを開始し、84%まで回復しました。

② 持続化給付金や「新しい生活様式」対応支援事業補助金などをおとして、場や事業の継続のみならず、オンラインとリアルの場の両輪で事業を実施できるよう備品や体制を整えることができました。

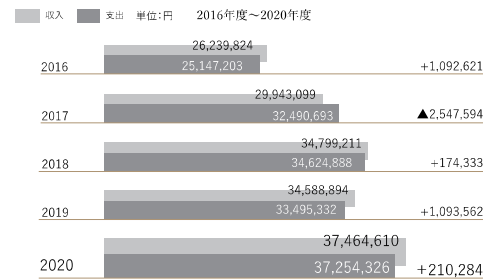
③ 店内飲食やイベントスペースの貸出を停止したことによって事業継続が危ぶまれましたが、たくさんのご寄付によって資金的にも精神的にも支えていただきました。

④ 様々な工夫やご支援により雇用を維持することができました。ポストコロナを見据えた事業展開を考えるため、プロボノの力を借りたり、オンライン事業ができるよう整備投資もしました。



収入は前年比108%とコロナ禍の混乱の中でも多くの方面で支援や補助、スタッフやボランティアの皆さんの創意工夫もあって、増えたり収入を増やすことができました。特に事業収入のうち提言・啓発事業は前年比220%とオンラインワークショップ・講演・研修などを行うことによって大幅に収入を増やすことができました。事業収入のなかでも4割を占めるカフェ事業は上記記述①の通り年度後半は大幅的な減収でしたが前半は継続的な状況でしたが年度後半お弁当やスイーツ販売やオンラインショップで売り上げを伸ばすことができました。支出は111%と昨年より増えましたが、支出全体の4割を占める人件費は③の通り雇用を維持することができ、昨年度とほぼ同じ水準になりました。子どもが孤立しないようウェルカムベビープロジェクトの交流や情報交換等積極的に設備投資をしながら取り組みました。

収入および支出推移



収入は、2017年度を除き、横ばいもしくは微増しています。しかし支出の増加も併せて増えていることや収入源の不安定さが課題です。事業は安心して取り組める環境を整えるために、まずは人材育成を更に行うことが重要だと思っています。加えて、カフェやウェルカムベビープロジェクトのノウハウ展開等、多くの団体とネットワークで事業を展開していくことも一つの鍵だと思っています。また、こまちふらすは多くの方の寄付と協賛に支えられていますが、ニーズを捉える多くの方の参加のもと積極的に事業を展開していくためにはまだまだたくさんの方のお力が必要です。